



美術(絵画)表現活動から考えるモノづくりと教材研究

—感性を生かした創造的活動のお手伝いをします—

教育学部児童教育学科 教授 渋谷 清

キーワード

美術(絵画)表現活動、美術(図工)教育、美術館連携、商品開発デザイン、アートワークショップ

該当するSDGs
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 研究内容

絵画教育の視点から油彩画の技法研究と抽象的な絵画作品研究を進めています。東京、広島をはじめ全国のギャラリー、美術館で個展等を開催。自ら洋画家として絵画表現活動をすると同時に、美術教育者として“造形あそび”の要素を取り入れた表現教育の教材研究や、美術館と連携した鑑賞教育の授業づくり、あるいは生涯学習の視点から“敷居の高くないアート”をテーマとしたアートワークショップや、公開講座等を実践展開しています。



一方で、絵画要素としても重要な「形」、「色彩」、「イメージ」が生かされた作品づくりや、モノづくりにも共同研究の中で国際ビジネス見本市等へ出展するなどの取り組みをしてきました。

2 連携可能性のある研究分野, 又は, これまでの連携実績

連携可能性のある研究分野

- 絵画的な「形」、「色彩」、「アートイメージ」が生かされた作品づくり、モノづくりに関すること
- 保育所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教育現場における美術(図工)教育に関する事前・事後研究会でのアドバイス、実技研修、作品研究会等におけるアドバイス、審査、講評、講演
- 美術館や造形研究会等での造形表現テーマに応じたアートワークショップの企画・実施

これまでの連携実績

- 企業との共同研究
 - 株式会社大昌(商品開発課)との共同研究で、アクリル端材を再利用した花用スタンドやデザインアクリル額、及びインテリアグッズ等の立体造形技術の開発と造形装飾デザインを行った。
- 造形教育、美術教育に関する研究会、授業づくり、作品研究会のための支援
 - ・ 幼稚園、小学校、中学校にて、広島県造形教育研究大会に向けた研究授業の指導助言をした。
 - ・ 図画工作科の専門研修講座の講師として広島県立教育センターにて絵画技法の実技指導をした。
 - ・ 中国浙江省杭州市にて「日本の幼児造形教育について」をテーマとした講演を行った。
 - ・ 安芸高田市教育委員会主催の安芸高田市児童生徒自画像展で、審査委員と講評者を務めた。
- 公開講座、アートワークショップの企画・実施
 - ・ “はじめる絵画講座”とした各公開講座「基礎から描く水彩画」、「透明水彩画を描く」、「プレス機で刷る手作りポストカード」、「アクリル絵具で描く細密画」、「調子を変えて描くデッサン」を実施した。
 - ・ 美術館や造形研究会等でその展示内容や造形テーマに応じてアートワークショップを行った。「青児風カレイドスコープを制作して、作品鑑賞してみよう!」、「色彩を限定して描く水彩画」、「絵具を使った造形遊び」、「抽象画にチャレンジ!」、「みんなで大きな木をつくってみよう!」など。

問合せ先 福山市立大学事務局総務課(地域連携センター)

TEL:084-999-1112 FAX:084-928-1248 MAIL:renkei@fcu.ac.jp